

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
道 南 農 試	初 雫	7.30	9.12	67	15.5	382	446	109	23.8	1	2004~2005
	きらら397	7.30	9.15	64	16.6	557	470	115	22.2	1	
北 農 研	彗 星	7.30	9.12	66	16.7	490	659	110	26.2	特	2004~2005
	吟 風	7.29	9.11	64	16.8	523	599	100	24.0	1	
	初 雫	7.30	9.10	70	16.9	517	643	107	23.7	1	
	きらら397	7.30	9.13	63	16.4	612	601	100	22.5	2上	

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2006)  
2) 田中 一生 等, 北海道立総合研究機構集報. 95, 1-12 (2011).

## 2. 小麦

### ※専門用語の解説

デオキシニバレノール (DON) : 赤かび病菌の特定の種 (*Fusarium graminearum*) が産生するかび毒。

フレッケン: 遺伝的特性として, 葉身に小斑点を生ずる症状で, 発生程度に品種間差があることが知られている。

ミリングスコア: 製粉歩留と灰分含量から算出される, 製粉特性を示す指標値。

ファリノグラム: 専用機器 (ファリノグラフ) によって得られる, 小麦粉を加水して一定の硬さになるように比較的穏やかに捏ね, さらにこね続けたときの生地の変化的変化を記したグラフ。一定の硬さの生地を形成

するために必要な水の量から, 粉の吸水率を知ることが出来る。

バリロメーターバリュウ: ファリノグラムから得られる値。一般に, 強力的な性質の小麦粉は大きい値, 薄力的な性質の小麦粉は小さい値となる。

エキステンソグラム: 専用機器 (エキステンソグラフ) によって得られる, 一定の硬さに調整した生地を伸ばして切れるまでの抵抗力の変化を記したグラフ。

ミキソグラム: 専用機器 (ミキソグラフ) によって得られる, 小麦粉を加水して比較的強く捏ねたときの生地の硬さの変化を記したグラフ。

- (1) **きたほなみ** (系統名 北見81号) 2006年  
登録番号: (北海道) 小麦北海道秋第18号  
(農水省) 小麦農林168号  
(種苗法) 第18438号

### セールスポイント

灰分含量が少なく製粉性に優れ, 粉色及び製めん適性が優れ, 多収で穂発芽耐性に優れた秋まき品種である。

**来歴** 本品種は, 1994年に北海道立北見農業試験場において, 「北見72号」(後の「きたもえ」) を母, 「北系1660」を父として人工交配を行い育成したもので, 2001年より「北系1764」, 2002年より「北見81号」の系統名で各種試験を行い2006年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

### 特性概要

1. 叢性は直立である。稈長はやや短, 稈の細太はやや太で「ホクシン」と同程度, ワックスの多少は少であ

る。葉身の下垂度は「ホクシン」よりやや小さく, 穂型は棒状, ふ色は淡黄である。

2. 粒形は中, 粒の大小はやや大, 粒色は黄褐で, 千粒重はやや大, 容積重, 原麦粒の見かけの品質は「ホクシン」と同等である。

3. 出穂期及び成熟期はやや早生に属するが, 「ホクシン」と比較して出穂期で1日, 成熟期で2日遅い。

4. 耐倒伏性は「ホクシン」並, 耐寒性, 耐雪性は「ホクシン」並, コムギ縞萎縮病抵抗性はやや弱, 赤かび病抵抗性は中, 赤さび病抵抗性はやや強, うどんこ病抵抗性はやや強である。穂発芽性は「ホクシン」より強くやや難である。

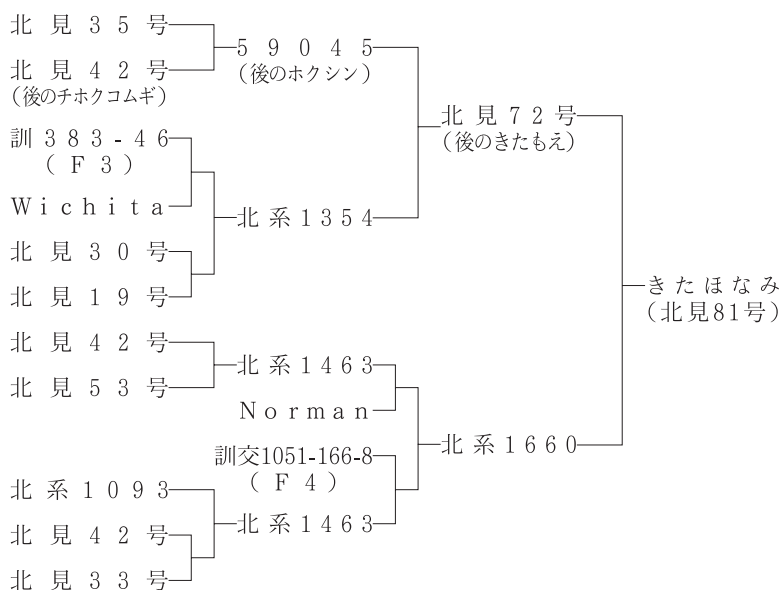
5. 子実重は「ホクシン」より優れる多である。

6. 製粉歩留はやや高, ミリングスコアは高でいずれも「ホクシン」より優れる。粉色は「ホクシン」より優れ, 粉質は粉状質, 60%粉の粗蛋白質含量は「ホクシン」よりやや低い。製めん適性は「ホクシン」と比較して色は優れ, 粘弾性は同程度で優れる。

## 栽培適地と奨励態度

「ホクシン」に置き換えて栽培する。コムギ縞萎縮病抵抗性がやや弱であるため多発圃場での栽培を避ける。

コムギ縞萎縮病の病徴は黄化症状より萎縮症状が強く発現する。



試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	きたほなみ	6.11	7.28	84	8.5	785	1.7	851	114	824	38.9	中上	2002~ 2004
	ホクシン	6.10	7.26	85	8.6	760	1.8	748	100	819	38.9	上下	
	きたもえ	6.12	7.28	83	7.4	762	0.9	697	93	815	39.0	上下	
中央農試	きたほなみ	6.07	7.22	97	9.2	898	2.2	902	126	802	37.3	中上	2002~ 2004
	ホクシン	6.07	7.19	94	9.1	749	2.1	718	100	798	37.8	上下	
	きたもえ	6.09	7.21	95	8.0	826	0.1	809	113	794	39.2	中上	
上川農試	きたほなみ	6.10	7.19	84	8.7	779	1.6	737	112	789	36.0	上下	2002~ 2004
	ホクシン	6.09	7.18	82	8.7	676	1.6	660	100	779	35.9	中上	
	きたもえ	6.12	7.20	82	7.6	740	0.5	664	101	790	37.6	上下	
十勝農試	きたほなみ	6.09	7.24	85	8.6	634	0.0	689	118	800	39.2	中上	2002~ 2004
	ホクシン	6.07	7.22	87	8.8	612	0.0	586	100	794	38.3	中上	
	きたもえ	6.11	7.23	85	7.5	633	0.3	563	96	783	38.0	中上	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質(原麦粒の見かけ上の品質)は上上, 上下, 中上, 中中, 中下, 下の6段階評価。

注2) リットル重は、ガラスシリットル重測定器による調査。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-9 (2000)  
2) 柳沢 朗等, 北海道立農試集報, 91, 1-13 (2007)

- (2) はるきらり (系統名 北見春67号) 2007年  
登録番号: (北海道) 小麦北海道春第19号  
(農水省) 小麦農林169号  
(種苗法) 第19304号

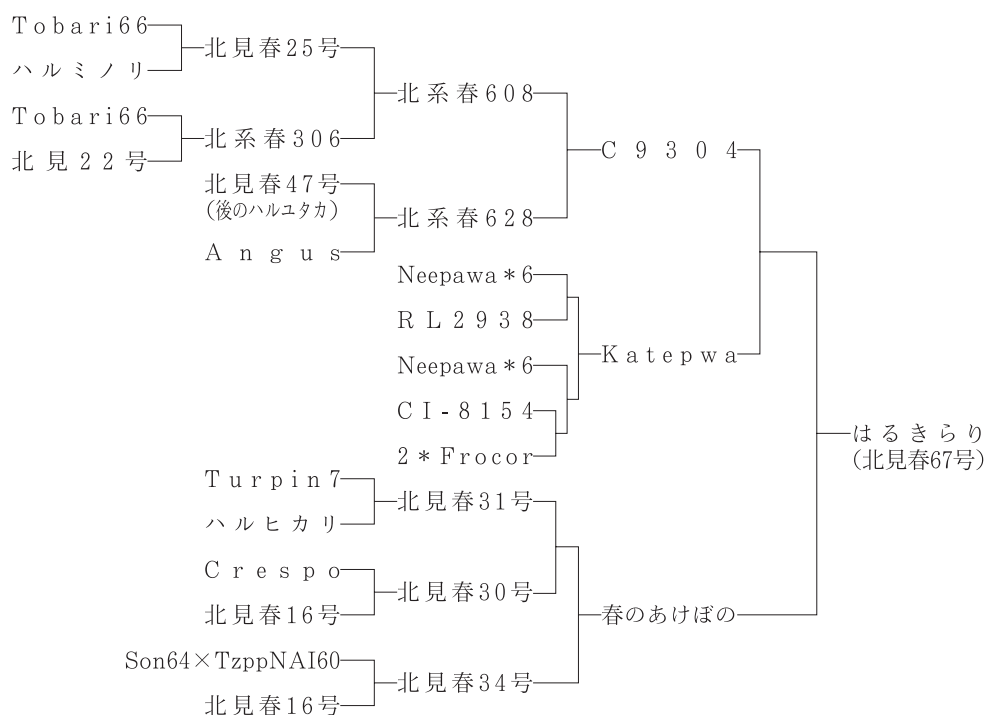
## セールスポイント

穂発芽耐性が優れ、子実のデオキシニバレノール (DON) 蓄積が少なく、多収で製パン適性が優れる春まき品種である。

**来歴** 本品種は、1994年に北海道立中央農業試験場において、「C9304」と「Katepwa」のF1を母、「春のあけぼの」を父として交配を行い、育成したもので、2002年に北海道立北見農業試験場へ移管され「北系春743」、2003年より「北見春67号」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

## 特性概要

1. 株は閉じており、稈長は中で「ハルユタカ」よりやや長く「春よ恋」並である。稈の細太はやや太で「ハ



ルユタカ」並である。葉色は「ハルユタカ」より淡く、「春よ恋」並で、葉身の下垂度は小さい。フレッケンはない。

- 穂型は紡錘状で、粒着はやや密である。穂長は「ハルユタカ」、「春よ恋」より短い。蒴の色は紫で、芒は多く、ふ色は黄である。
- 粒形は中、粒色は赤褐色で、黒目粒の多少は「春よ恋」よりやや多いが中に属する。千粒重は、かなり大で、「ハルユタカ」、「春よ恋」より重い。容積重は「ハルユタカ」よりやや大きく、「春よ恋」並の中である。原麦粒のみかけの品質は「ハルユタカ」、「春よ恋」よりやや優れる。粗蛋白質含量が「ハルユタカ」、「春よ恋」よりやや少ない。
- 出穂期および成熟期ともに「ハルユタカ」、「春よ恋」並の中生である。赤さび病抵抗性は強、うどんこ病抵抗性は中、赤かび病抵抗性は「ハルユタカ」よりやや優れ、「春よ恋」並の中である。赤かび病発生時の子実におけるDON濃度は、「ハルユタカ」、「春よ恋」より少ない。穂発芽性は「ハルユタカ」、「春よ恋」より優れる難である。耐倒伏性は「ハルユタカ」よりやや劣るが、「春よ恋」よりやや優れるやや強である。
- 子実重は「ハルユタカ」より多く、「春よ恋」並で

ある。

- 粒の硬軟は「春よ恋」より軟らかい。製粉歩留は「ハルユタカ」より低い、「春よ恋」並からやや高い。60%粉粗蛋白質含量は「ハルユタカ」、「春よ恋」よりやや少なく、60%粉灰分含量もやや少ない。
- フェリノグラムの吸水率は「ハルユタカ」並で「春よ恋」より低い。パロリメーターバリュウは「ハルユタカ」並で「春よ恋」よりやや小さい。エキステンソグラムの生地力の程度、生地の伸長抵抗は「ハルユタカ」並で「春よ恋」より小さい。生地の伸長度は「ハルユタカ」、「春よ恋」並で、「春よ恋」より小さい。生地の形状係数は「ハルユタカ」よりやや大きく、「春よ恋」より小さい。製パン適性は「ハルユタカ」より優れ、「春よ恋」に近い。

#### 栽培適地と奨励態度

「ハルユタカ」と、「春よ恋」の一部に置き換えて栽培する。粗蛋白質含量がやや少ないため、開花期以降の尿素葉面散布などにより「春よ恋」並の原粒粗蛋白質含量を確保する。赤かび病発生時のDON汚染は少ないが、赤かび病抵抗性は中であるため、適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	はるきらり	6.25	8.12	88	7.6	492	0.6	551	107	824	44.5	上下	2003~ 2006
	ハルユタカ	6.26	8.11	85	8.1	488	0.4	515	100	814	41.2	中上	
	春よ恋	6.25	8.10	89	8.2	540	0.9	532	103	819	42.8	中上	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
中央農試	はるきらり	6.19	8. 4	95	7.8	474	0.1	553	117	813	46.8	中上	2003～ 2006
	ハルユタカ	6.21	8. 3	87	8.5	463	0.0	473	100	812	40.9	中上	
	春 よ 恋	6.21	8. 2	96	8.5	487	0.4	545	115	824	42.5	中上	
上川農試	はるきらり	6.20	7.31	89	7.8	475	0.8	601	109	809	45.5	上下	2003～ 2006
	ハルユタカ	6.22	7.29	82	8.4	487	0.4	554	100	804	40.8	中上	
	春 よ 恋	6.22	7.29	89	8.4	481	1.6	557	101	811	40.3	中上	
十勝農試	はるきらり	6.22	8. 7	92	7.5	478	0.3	413	112	806	42.1	中上	2003～ 2006
	ハルユタカ	6.24	8. 6	86	8.0	505	0.0	368	100	796	38.6	上下	
	春 よ 恋	6.23	8. 5	92	8.1	507	0.1	405	110	806	39.2	中上	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質は上上, 上下, 中上, 中中, 中下, 下の6段階評価。

注2) リットル重は、ガラスリットル重測定器による調査。

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-7 (2007)

2) 中道浩司等, 北海道立総合研究機構農試集報, 95, 25-37 (2011)

(3) ゆめちから (系統名 北海261号) 2009年

登録番号: (北海道) 小麦北海道秋第20号

(農水省) 小麦農林172号

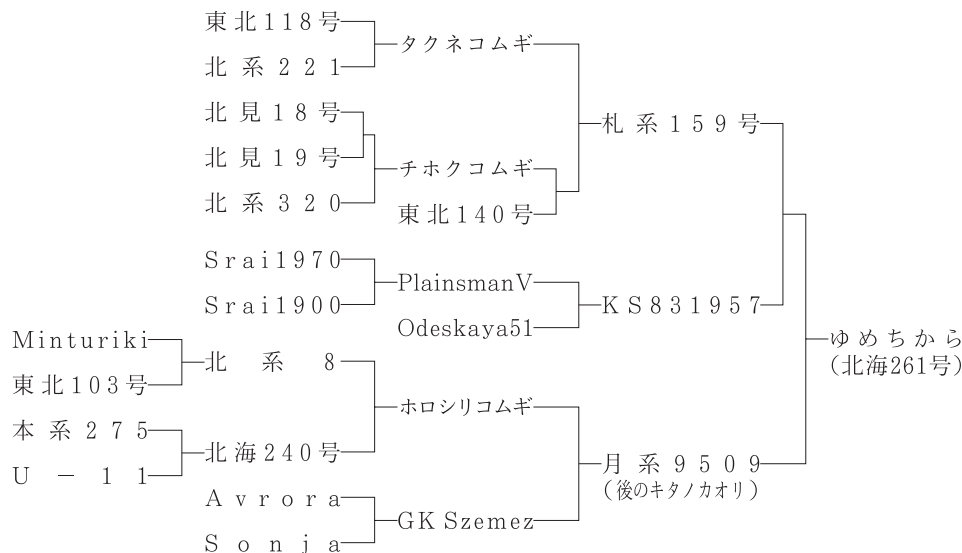
(種苗法) 第20751号

秋まき品種である。

**来歴** 本品種は、1996年に北海道農業試験場において、「札系159号」と「KS831957」のF1を母、「月系9509」を父として人工交配を行い、育成したもので、2003年より「勝系63号」、2005年より「北海261号」の系統名で各種試験を行い、2009年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

#### セールスポイント

コムギ縮萎病抵抗性に優れ、「ホクシン」等の中力小麦とブレンドすることにより優れた製パン適性を示す



#### 特性概要

1. 叢性は中で、稈長は短で「ホクシン」よりやや短く、稈の細太は太で、ワックスの多少はかなり少である。葉身の下垂度は中で、穂型は棒状、ふ色は赤褐である。
2. 粒形は中、粒の大小は大、粒色は褐で、千粒重は大、容積重、原麦粒の見かけの品質は「ホクシン」と同等である。
3. 出穂期及び成熟期は「ホクシン」並のやや早生に属するが、「ホクシン」と比較して成熟期は2日遅い。

4. 耐倒伏性は強、耐寒性は「ホクシン」並の中で、耐雪性は「ホクシン」よりもやや劣る中、コムギ縮萎病抵抗性は「ホクシン」より優れる強、赤かび病抵抗性は中、赤さび病抵抗性は強、うどんこ病抵抗性はやや強、穂発芽性は「ホクシン」並の中である。
5. 子実重は「ホクシン」と同程度である。
6. 製粉歩留、ミリングスコアは「ホクシン」並で、粉質は硝子質、粗蛋白質含量は「ホクシン」より高い。
7. フェリノグラムの吸水率は「キタノカオリ」並に高

く、バリロメーターバリュウは高である。エキステンソグラムの生地の力の程度は大で、伸長抵抗は強、伸長度は中、形状係数は大である。ミクソグラムの生地形成時間が長いことから、生地の物性は「キタノカオリ」より強く、小麦粉の性質は超強力である。「ホクシン」等の中力小麦とブレンドすることにより優れた製パン適性を示す。

8. 原粒粗蛋白質含量が高く、醤油原料用としても利用できる。

#### 栽培適地と奨励態度

コムギ縞萎縮病が発生し生産が安定しない地帯の「タ

クネコムギ」および登熟期間がやや低温で経過し低アミノ小麦の発生が懸念される地帯に栽培されている「キタノカオリ」の一部に置き換えて栽培する。不良土壌環境では、早期に枯れ上がり収量が低下することがある。気象および土壌条件により、葉身に斑点状またはかすり状に黄化する現象がみられる。これらは条斑病、赤さび病による症状と判別が可能であるが、原採種圃場の選定ならびに病害株の抜き取り作業での本現象と病害との区別に留意する。耐雪性が中であるので、雪腐病防除を励行する。超強力小麦としての特性を發揮させるため、蛋白質含量が低くならないように止葉期以降の窒素追肥を行う等の肥培管理に努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北 農 研 セ ン タ ー	ゆめちから	6.10	7.30	85	9.8	972	0.1	834	108	838	41.8	3.2	2005～ 2007
	ホクシン	6.10	7.28	92	9.1	1014	1.2	772	100	827	38.0	3.2	
	キタノカオリ	6.15	8.02	87	10.3	926	0.0	884	114	849	42.4	3.0	
中 央 農 試	ゆめちから	6.05	7.19	85	9.0	640	0.0	628	97	795	42.0	3.0	2005～ 2007
	ホクシン	6.07	7.18	93	8.2	767	0.3	645	100	796	40.8	3.0	
	キタノカオリ	6.11	7.23	87	9.2	582	0.0	623	97	787	43.8	2.3	
	タクネコムギ	6.01	7.16	101	7.5	925	2.5	589	91	784	39.7	3.0	
上 川 農 試	ゆめちから	6.07	7.18	81	9.1	567	0.0	679	100	804	44.3	3.7	2005～ 2007
	ホクシン	6.08	7.17	85	8.5	668	0.2	676	100	794	41.2	2.8	
	キタノカオリ	6.12	7.22	82	9.3	483	0.0	626	93	811	44.9	3.0	
十 勝 農 試	ゆめちから	6.09	7.25	82	8.9	585	0.0	540	95	822	41.0	3.4	2005～ 2007
	ホクシン	6.09	7.24	92	8.2	660	0.0	567	100	813	39.9	2.7	
	キタノカオリ	6.14	7.29	87	9.4	526	0.0	523	92	825	42.6	3.1	
北 見 農 試	ゆめちから	6.11	7.29	82	9.0	585	0.0	572	103	816	40.5	3.3	2005～ 2007
	ホクシン	6.11	7.27	86	8.3	666	0.3	554	100	800	37.7	3.0	
	キタノカオリ	6.15	8.01	83	9.4	558	0.1	551	99	818	42.7	3.0	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価、外観品質は1(上上)、2(上下)、3(中上)、4(中中)、5(中下)、6(下)の6段階評価。

注2) リットル重はガラス升リットル重測定器による調査、ただし北農研センターはブラウウェル穀粒計による調査。

参照 1) 北海道農政部編、平成21年普及奨励ならびに指導参考事項、33-35(2009)

2) 田引 正等、北海道農研研報、195、1-12(2011)

(4) **きたさちほ**(系統名 北見83号) 2011年  
登録番号：(北海道)小麦北海道秋第20号  
(農水省)小麦農林174号  
(種苗法)第22745号

#### セールスポイント

コムギ縞萎縮病抵抗性が「きたもえ」と同程度に優れる。ゆでうどんの粘弾性が「きたもえ」より優れ、製めん適性が優れる。品質取引項目のひとつである容積重が大きい秋まき品種である。

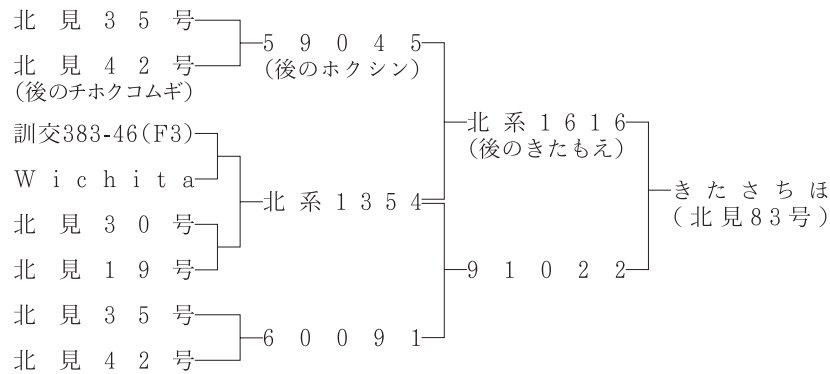
来歴 本品種は、1999年に北海道立北見農業試験場にお

いて、「北系1731」を母、「北見72号」(後の「きたもえ」)を父として人工交配を行い、2005年より「北系1824」、2006年より「北見83号」の系統名で各種試験を行い、2011年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

#### 特性概要

1. 叢性は直立、株の開閉はやや閉である。稈のワックスの多少は少、葉色はやや淡である。穂型は棒状で、粒着は密である。芒は無く、ふの色は淡黄である。粒形は中で、粒色は黄褐色である。
2. 稈長は「きたもえ」(対照品種)よりやや長く、「ホ





クシン」(標準品種)と同程度である。穂長は「きたもえ」より長く、穂数は同程度である。千粒重は「きたもえ」と同程度である。容積重は「きたもえ」より大きい。原麦粒のみかけの品質は「きたもえ」と同程度である。

3. 出穂期及び成熟期はやや早生に属するが、育成地では、「きたもえ」と比較して出穂期は2日、成熟期は3日早い。
4. 耐寒性は中、耐雪性はやや強である。赤さび病抵抗性はやや弱、うどんこ病抵抗性はやや強、赤かび病抵抗性はやや弱である。コムギ縞萎縮病抵抗性は中である。穂発芽性はやや難である。耐倒伏性は強である。
5. 収量性は、育成地では「きたもえ」よりやや劣るが、その他の試験地では「きたもえ」とほぼ同程度である。コムギ縞萎縮病の発病が激しい圃場(表、伊達市)では、「きたさちほ」の発病程度および子実重は「きたもえ」と同程度である。コムギ縞萎縮病の発病が軽微な圃場(表、現地1および2)では、「きたさちほ」の発病程度は「ホクシン」、「きたほなみ」より小さいか発病が認められず、子実重は「ホクシン」に優り、

「きたほなみ」と同程度である。

6. 製粉歩留およびミリングスコアは「きたもえ」と同程度である。粉色は、粉の明るさ(L\*)、粉の赤色み(a\*)および粉の黄色み(b\*)が、いずれも「きたもえ」と同程度である。60%粉粗蛋白含量および60%粉灰分含量は「きたもえ」と同程度である。アミロース含量は「きたもえ」よりやや低く、「ホクシン」と同程度である。ゆでうどんの官能評価は、色が「きたもえ」と同程度で、粘弾性が「きたもえ」より優れることから、総合点は「きたもえ」より高く、製めん適性は優れる。

#### 栽培適地と奨励態度

「きたさちほ」はコムギ縞萎縮病抵抗性が「きたもえ」と同程度で、容積重が「きたもえ」より大きく品質取引への対応に有利である。製めん適性はゆでうどんの色、粘弾性ともに優れ、「きたもえ」の品質面の欠点が改良されている。以上から、「きたさちほ」を「きたもえ」に置き換えて普及することで、コムギ縞萎縮病多発地域の麦作振興と道産小麦の生産安定性の向上が期待される。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	きたさちほ	6/10	7/25	86	8.4	712	0.8	549	96	837	35.8	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/12	7/28	82	7.3	720	0.5	575	100	819	35.3	中上	
	ホクシン	6/10	7/25	86	8.5	712	1.1	570	99	817	35.7	中上	
	きたほなみ	6/11	7/27	84	8.5	705	0.8	657	114	830	36.0	中上	
中央農試	きたさちほ	6/5	7/19	94	8.5	737	1.1	671	98	823	38.5	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/9	7/20	87	7.5	719	0.2	684	100	803	36.5	中上	
	ホクシン	6/5	7/17	91	8.4	720	1.0	610	89	802	37.3	中上	
	きたほなみ	6/7	7/20	89	8.6	777	0.9	767	112	806	38.1	中上	
上川農試	きたさちほ	6/5	7/16	86	8.6	626	0.1	625	106	805	42.5	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/9	7/17	79	7.3	624	0.0	591	100	786	39.2	中上	
	ホクシン	6/6	7/15	82	8.4	658	0.3	614	104	782	41.1	中上	
	きたほなみ	6/7	7/17	82	8.5	636	0.1	714	121	782	40.7	中上	
十勝農試	きたさちほ	6/7	7/24	93	8.5	686	0.0	551	103	843	38.6	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/8	7/22	88	7.4	660	0.0	533	100	823	37.2	中中	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
十勝農試	ホクシン	6/7	7/22	92	8.5	694	0.1	549	103	828	38.4	中上	2006～
	きたほなみ	6/8	7/24	87	8.7	627	0.0	600	112	839	38.8	中上	2009
伊達市	きたさちほ	6/5	7/18	90	8.7	775	0.7	501	100	847	38.6	—	2007～
	きたもえ	6/6	7/19	82	7.3	832	0.0	502	100	829	37.5	—	2009
現地 A	きたさちほ	6/8	7/22	80	8.9	613	1.0	586	110	825	36.8	—	2007～
	ホクシン	6/8	7/22	76	8.4	536	1.0	534	100	808	37.5	—	2009
現地 B	きたさちほ	6/9	7/22	82	9.1	676	1.5	620	98	817	35.5	—	2008～
	きたほなみ	6/10	7/22	80	8.9	669	1.8	634	100	809	34.9	—	2009

注1) 伊達市および現地1および2はコムギ萎縮病発生圃場での調査。同病害の発病程度は、伊達市が“多”～“甚”，現地A（4事例の平均）および現地B（2事例の平均）はいずれも“微”である。

注2) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質（原麦粒の見かけ上の品質）は上上，上下，中上，中中，中下，下の6段階評価。

注3) 容積重はブラウエル穀粒計による調査，ただし上川農試はガラス升リットル重測定器による調査。

参照 1) 北海道農政部編，平成23年普及奨励ならびに指導参考事項，29-31（2012）

#### (5) つるきち（系統名 北見85号）2012年

登録番号：（北海道）小麦北海道秋第21号

（農水省）小麦農林175号

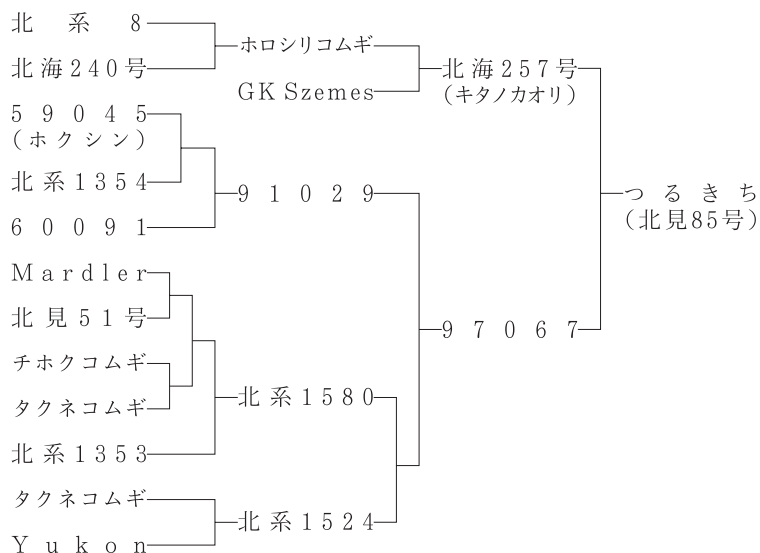
（種苗法）出願番号 第27056号

中華めん適性を有する秋まき品種である。

**来歴** 本品種は，2001年に北海道立北見農業試験場において，「北海257号」（後の「キタノカオリ」）を母，「97067」を父として人工交配を行い育成したもので，2007年より「北系1835」，2009年より「北見85号」の系統名で各種試験を行い2012年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

#### セールスポイント

硬質秋まき小麦の「キタノカオリ」より穂発芽耐性および低アミロ耐性に優れ，「キタノカオリ」並に優れた



#### 特性概要

1. 叢性は直立である。稈長は短で「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より短い。稈の細太はかなり太で「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より太く，ワックスの多少は少である。葉身の下垂度は「きたほなみ」よりやや大きく，穂型は棒状，ふ色は淡黄である。
2. 粒形は中，粒の大小は大，粒色は褐で，千粒重は大で「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より大

きく，容積重，原麦粒の見かけの品質は「キタノカオリ」「きたほなみ」と同等である。

3. 中生に属し，出穂期は「キタノカオリ」より1～3日早く「きたほなみ」と同程度，成熟期は「キタノカオリ」より1日早く，「きたほなみ」より2日遅い。
4. 耐倒伏性は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より優れる。耐寒性は「きたほなみ」より劣り，耐雪性は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」よりやや劣る。コムギ萎縮病抵抗性は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」よりやや劣る。

り」「きたほなみ」よりやや優る中、赤かび病抵抗性は中、赤さび病抵抗性はやや強、うどんこ病抵抗性は強である。穂発芽性は「キタノカオリ」より優り、「きたほなみ」よりやや劣る中である。

5. 子実重は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」よりやや劣る。
6. 製粉歩留、ミリングスコアは「キタノカオリ」並で、粉質は硝子質、原料及び60%粉の粗蛋白質含量は「キタノカオリ」並で「きたほなみ」より高い。
7. フェリノグラムの吸水率、バリロメーターバリュウは「キタノカオリ」とほぼ同程度である。エキステン

ソグラムの生地の力の程度は中で、伸長抵抗はやや強、伸長度は中、形状係数はやや大である。中華めん官能検査の評点は、めんの色、食感ともに「キタノカオリ」と同程度であり、中華めん適性は「キタノカオリ」並に優れる。

#### 栽培適地と奨励態度

「キタノカオリ」および「きたほなみ」の一部に置き換えて栽培する。穂数不足が減収につながることから、穂数を確保する栽培管理に努める。耐雪性が中であり、冬損程度がやや大きい事例があるので、雪腐病防除を徹底する。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	つるきち	6.11	7.28	80	9.9	627	0.0	607	100	824	41.5	中上	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.12	7.29	84	9.7	676	0.1	606	100	829	39.6	中上	
	きたほなみ	6.11	7.26	87	8.6	836	1.0	681	112	821	33.9	中上	
	ホクシン	6.10	7.24	90	8.7	818	1.1	584	96	812	35.2	中上	
中央農試	つるきち	6.08	7.21	82	9.7	539	0.3	636	97	801	41.7	中上	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.11	7.23	87	9.4	605	0.2	655	100	812	39.1	中上	
	きたほなみ	6.08	7.21	92	8.7	812	1.5	734	112	801	35.6	中上	
	ホクシン	6.06	7.18	92	8.5	745	2.5	586	89	789	35.3	中上	
上川農試	つるきち	6.08	7.19	72	9.4	452	0.0	481	92	790	42.4	中中	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.11	7.21	77	9.4	521	0.0	523	100	785	39.2	中上	
	きたほなみ	6.08	7.18	81	8.3	679	0.5	605	116	784	36.6	中上	
	ホクシン	6.07	7.16	84	8.4	677	1.7	535	102	776	36.8	中上	
十勝農試	つるきち	6.10	7.26	80	9.7	512	0.0	519	97	823	43.3	中下	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.12	7.27	87	9.7	586	0.0	536	100	833	41.3	中下	
	きたほなみ	6.09	7.24	92	8.6	756	0.1	624	116	847	37.8	中中	
	ホクシン	6.07	7.21	94	8.8	751	0.3	555	104	826	37.6	中上	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質は上上, 上下, 中上, 中中, 中下, 下の6段階評価。

注2) 容積重は、北見農試と十勝農試がインフラテック1241による調査。中央農試はブラウエル穀粒計による調査。上川農試はガラス升リットル重測定器による調査。

参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 5-8 (2012)

### 3. 大豆

- (1) トヨハルカ (系統名 十育237号) 2005年  
登録番号: (北海道) 大豆北海道第40号  
(農水省) だいで農林131号  
(種苗法) 第16458号

#### セールスポイント

低温によるへそおよびへそ周辺着色抵抗性が強く外観品質に優れ、密植適性およびコンバイン収穫適性が高く、耐冷性およびダイズシストセンチュウ抵抗性を有する白目大粒品種である。

来歴 本品種は、ダイズシストセンチュウ抵抗性、低温

抵抗性、低温着色抵抗性で機械収穫向きの品種育成を目標に、1993年に北海道立十勝農業試験場において「十系793号」を母、「十交6225F8」を父として人工交配を行い、以後選抜と固定を図り、その後代から育成したもので、1999年から「十系907号」、2002年からは「十育237号」の系統名で各種試験を行い、2005年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

#### 特性概要

1. 主茎長、主茎節数および分枝数はそれぞれ「トヨムスメ」の短、少および中に対して短、少および少である。伸育型は有限であり、熟莢色は淡褐を呈する。